

在所の確認

	避難移動時	ご利用者
2Fへ全員避難したら		
ご利用者の在所を確認しろ！		
スタッフ二人でダブルチェックする。		
スタッフの在所も確認しろ！		
居なくても慌てるな。	居ない時→	
トイレを探せ！居室を探せ！		
物やベッドの下も確認せよ。	居ない時→	
2F窓から外を確認しろ。		
駐車場や庭、周辺には居ないか。		
居たら直ちに2Fへ誘導しろ！		
居ない時→		
見渡して居なければ諦めろ。		
深追いはするな。津波が来るぞ。充分やったありがとう。		

初期消火

	発災時	スタッフ
火元を見つけたら、直ちに実施する。		
消火器を手にとれ！		
1F・2Fに其々3つずつあるぞ。		
火元に行け。		
一人では難しければ、ヘルプを呼べ。		
火元を確認。初期消火しろ！		
元栓を抜いて、ホースを火元に向けて、レバーを握れ。		
消えなければ6本すべて使え。		
電気火災は水はダメ！ブレーカーを落とせ。		
ブレーカーはホーム長のイスの後ろのボックスを開けろ。		
すべての発熱器具のスイッチを切れ。		
テレビや照明は消す必要がない。		

2Fへ避難

	避難移動時	ご利用者
エレベーターは使うな。閉じ込められる。		
落ち着け。ランタンを持って階段の安全を確認しろ。		
ランタンは各階事務所にある。		
自立の人から上げろ。		
「津波が来る」と言って2Fへ上げろ。		
介助が必要な軽い人から上げろ。		
スタッフ1人で難しければ、2人で上げろ。		
重たい人を上げろ。		
スタッフ2～3人で上げろ。		上げれない時→
自立の方にも手伝ってもらえ。		

従業員の参集

	落ち着き	スタッフ
津波が収まり、家族の安全が確保されたら、		
各自直ちに、ホームに参集。		
基準は【BCP自然災害編 p.6】参照。		

社内報告

	落ち着き	スタッフ
2Fへの避難が完了したら、		
【BCP自然災害編 p.6】 参照。		
1F・2F各事務所クローゼットにある。		
必要に応じて、上長に報告。		

外に出ようとしている

	発災時	ご利用者
揺れから外に出ようとしている		
落ち着いて声を掛けろ。「津波が来る」と。		
相手はパニック中だ。冷静に声を掛けろ。		
「2Fなら安全」と伝えろ！		
津波の浸水深は1～2mと理由も添えろ。		
2Fへ誘導しろ。		
周りには高い建物は無い事を伝え誘導しろ。		
「津波が来るぞ」と伝え続けろ。		
ご利用者は認知症だ。 言い続けろ。 でないと再度1Fへ降りるぞ。		

応援スタッフが来ない

	発災時	スタッフ
揺れがおさまったら、		
緊急連絡網に沿って、電話しろ。		
津波のリスクがある為、すぐには来れないぞ。 繋がらない時→		
繋がらなくても安心しろ。		
津波がおさまったら、出社するように全員に伝えてある。		
次の行動に移せ！		
いつまでも掛け続けるな。代替りのスタッフは必ず来る。		

火災報知器の誤作動

	発災時	スタッフ
火災報知器が鳴ったら、		
火や煙が出ていないかトイレ、居室まで調べろ。		
ガスタンクや裏の給湯器も確認しろ。		出ていなければ→
1F事務所へ行け。		
ガラス等に気を付けろ。		
ホーム長席後ろの火災受信機を確認しろ。		
赤い電話の向かって右のボックスだ。		
【停止】と【一時停止】を押せ。		
赤いボタンだ。		何も無ければ→
【復旧】を押せ。		
オレンジのボタン。監視状態に戻るぞ。		

扉が開かない

	移動時	スタッフ
地震でゆがみ、扉が開かなくなった。		
上に持ち上げて扉を外してみよう。		
引き戸だ。重たいが普段は外れるようになっている。 ダメなら→		
体全体で扉を押してみよう。		
扉の後ろに誰もいないか声をかけろ。 ダメなら→		
体重を掛けて扉を足の裏で蹴ってみよう。		
息を合わせて、スタッフ数人でやってみろ。		

急変した際

	落ち着き	ご利用者
容態が明らかにおかしい人を発見したら、		
AEDを持ってこよう。		
いつもは玄関にあるが、避難時に2Fに上げているはずだ。		
服を破って、AEDを装着しろ！		
分からなくても使ってみろ。全部音声で説明してくれる。		
必要であればAEDの指示通り、救命措置を行え。		
119番通報しろ。		
繋がらない場合→		
20分続けてダメなら、諦めろ。		
ベッドに連れてあげて、楽な姿勢にしてあげて。		
充分やった。ありがとう。		
もうできることはない。		

ミキサー食

	落ち着き	ご利用者
災害食に		
水とトロミを混ぜる。		
トロミの量は個々に合わせる		
必要に応じて、調味料を混ぜる。		
水を入れたことにより味が薄くなっている。		
ぶんぶんチョッパーで刻め。		
2Fキッチン吊り戸にある。完全なトロミ食にならなくても仕方ない。		

ご家族に連絡

	落ち着き	ご利用者
避難が終わり、落ち着いたら		
ご家族の連絡先一覧を用意する。		
1F・2F事務所固定電話に上にある。		
会社の電話、個人スマホ繋がる方で電話しろ。		
繋がらなければ→		
災害用伝言ダイヤル「171」利用。		
使い方は【MCSいざという時の防災マニュアル p.3】に記載。		
繋がった人には、一覧に印をつけろ。		
誰に連絡したか把握するため。		
2Fに避難したことと体調を伝えろ。		
最終的に社会福祉センターに避難すること伝えろ。		
いつ移動するかは未定だ。		

寝る場所

	落ち着き	ご利用者
原則、		
1Fの方は2Fで同じ居室使用する。		
可能であれば、男女など配慮する。どちらかは床で寝る。		
布団は2Fに上げてある。		
上げれなかった時→		
2Fのご利用者の余っている布団を使う。		
各クローゼットの中にある。		
スタッフの布団は3号室の横の倉庫にある。		
茶色の布団があります。		
交代で休んでください。		
寝る場所はどこの居室でもいい。		

防災用トイレ

	落ち着き	物
2Fへ避難完了したら、		
固定トイレは使用禁止。		
汚物が溢れる可能性あり。業務が滞る。		
207号室横の倉庫に行く。		
写真がついた段ボールが2つある。		
段ボールから出して組み立てる。		
説明書は中に入っている。		
洗面所に1つ置け。		
もう一つは中央トイレに置け。		
不安定な為、4つ角の隅に置け。		
背もたれがない。手すりになるようなイスを置くといい。		

防災用トイレの汚物の処理

	落ち着き	物
防災用トイレ組み立てたら		
便座にビニール袋を敷く		
ビニール袋の中に		
パット大を敷く。		
尿を吸収させる為		
3～4回分吸収させる。		
便なら一回で交換。		
ビニール袋を縛り、交換する。		

コロナ感染者の対応

	落ち着き	ご利用者
検査はできないので、		
体調不良の人はコロナ感染者として扱え		
密集し過ぎる為、		
奥から順番にコロナ感染居室にする。		
204号室若しくは205号室から		
机やいすでバリケードも		
感染したご利用者の認知症状によって		
KN95マスク・防護服・フェイスシールド着用		
2F事務所にある		
換気、アルコール消毒の徹底		
解熱剤で対応		
救助が来るか社会福祉センターに避難できるまで		

電気の切り方

	発災時	物
揺れがおさまったら		
IHと使用中の電源、コンセントを全部抜け。		
キッチン、トイレ、居室、事務所、リビング。		
必ず分電盤のブレーカーを切れ。		
1Fのホーム長のデスク後ろにある。2Fも同じ位置。		
火を確認したら		
必ず消火器で消せ。		
水はかけるな。		
その後は【MCSいざという時の防災マニュアル p.12】を見ろ。		
その後の対応が載っている。1.2F事務所クローゼットにある。		
ランタンは1F・2Fにある。		
107号室・207号室の横の倉庫		

水道

	落ち着き	物
2Fへ避難後、		
その後は【MCSいざという時の防災マニュアル p.12】を見ろ。		
対応が載っている。1.2F事務所クローゼットにある。		
飲み水は207号室横の倉庫に入っている。		

その他の困りごと

	落ち着き	スタッフ
その他で判断できないことがでたら、		
【MCSいざという時の防災マニュアル】 を見ろ。		
1.2F事務所クローゼットにある。		
【BCP自然災害編】 を見ろ。		
1.2F事務所クローゼットにある。		
【防災マニュアル】 を見ろ。		
1.2F事務所クローゼットにある。		

薬

	発災時	物
揺れがおさまり、ご利用者様全員2Fへ避難したら		
1Fへ降りろ。		
津波が来るまで90分ある。		
事務所へ行け。		
薬のカレンダーと各薬袋を2Fへ上げろ		
もう一回。1Fへ降りろ		
キッチンへ行け。		
冷蔵庫の中の薬を2Fへ上げろ		

発災時3日後の食事・水

	落ち着き	物
津波が落ち着いたら、スタッフ一人が		
弥富市社会福祉センターへ行け。		
空の車椅子を持って行くと便利かも		
愛の家グループホーム弥富と避難人数伝えろ		
食事・水が不足していること伝えろ		
食事などもらったら		
車椅子の載せて、ホームまで運ぶ		

スタッフのトイレ

	落ち着き	物
防災用トイレの一つを避難階段2F踊り場に設置		
スタッフ用トイレとする		
2Fのカーテンを外す。		
リビングのカーテンが大きくていい		
用を足す時はそれを頭から被り、目隠しに		